繪ハガキ競技會記事

横（意匠）

一等　梭　横田　順三
二等　横戀墓　小林　珠郎
三等　横笛の卷　金江　義雄
四等　蟹　吳　文炳
五等　蟹滿寺　山崎　公平
六等　横ぐし　山田　全一
七等　横ぶり　野口　六三
八等　うらなひ　小林　華秋
九等　天の川　小寺　健吉
十等　英書　後藤　百次
十一等　よこめ　渡邊　寒葉
十二等　横笛　正親町公和
十三等　若葉の笛　倉永　擣衣
十四等甲　宇治川　澤村　豐
十四等乙　江戸の雨　堀内　凡水
十五等　横乘　大橋　三平
十六等　横づけ　梶原　景祐
十七等　横濱　成瀨　二葉
十八等　横雲　岡田　寸草
十九等　おつかれ　赤城　泰舒

燈火（技術）

一等　ピアノの灯　三條千代子
二等甲　森の中　横田　順三
二等乙　里の燈火　鵜澤　四丁
三等　月下の燈　小林　華秋
四等　燈下　野口　六三
五等　田舍家　大橋　三平
六等　カンテラ　赤城　泰舒
七等甲　提灯　山田　全一
七等乙　行燈　堀内　凡水
八等　おしごと　瀧島　寛水
九等　夜の道　柳田春太郎
十等　燈臺　佐藤　清
十一等　提灯　後藤　百次
十二等　線香　山崎　公平
十三等　軒洋燈　小林　珠郎
十四等　窓の燈火　小林誠之助
十五等　田甫道　小寺　健吉
十六等　百物語　渡邊　寒葉
十七等　市の灯　倉永　擣衣
十八等　青燈　高畑　微平

十月二十二日第十七回開會、出品者客員會員合せて四十六人、出品數百九十四枚、選評の結果上記の如し。

意匠の二等は忠臣藏大序。六等は玄冶店。九等は芭蕉の句より出でたり。五等は釣鐘に蟹にて、蟹滿寺の故事より出しと覺し。かゝる繪には由來を記されたし。多かりしは蟹の横這と横笛とにて、優れて配置よきは選に入りたれど、他は皆二十等以下に落ちたり。技術の燈は、忠實に寫生されしもの高點を占めたり。

十二月課題　車（意匠）　煙（技術）

十二月二十日〆切　同二十四日開會

十月二十二日は　眞野氏日光へ往かれて不參、其代り草花の小宮氏が來られて、選評後ば常の通り合作繪葉書をやつた。席上某健啖家へ送るべく、あるとあらゆる食物を、二枚のはがきへ畫き盡して、其上滑稽の贊迄入つた頗る珍物が出來た。かくて第二の寫生會を高雄山地方に催すべく相談をして、散會したのは八時頃であつた。

▲繪葉書課題に奇警なる御思つきあらば出題せられたし。